

「こんにちは」から始まる国際交流



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

会報 No. 24 (March 2017)



KIFAクリスマス会にて (2016年12月11日)

Contents

- | | |
|--|-----|
| ☆ 会長あいさつ：藤田 美保、 ☆ 蟹江町長あいさつ：横江 淳一 | 1 |
| ☆ 多文化共生推進功労者表彰、 ☆ 磯部正弘さん追悼 (谷中ひさ子、服部小夜子) | 2 |
| ☆ 名大研修学生短期ホームステイ受入ホストファミリー紹介&感想文 | 3~5 |
| ☆ 「チャンディ&カエマリーのホームステイ」 (戸谷規子 <i>et al.</i>) | |
| ☆ 「国際交流初体験」 (近藤智代美)、 ☆ 「リーちゃんを受け入れて」 (長田裕美子) | |
| ☆ 「マンドさんと本綿のハンカチーフ」 (深山加代子) | |
| ☆ 「日本の魅力を発見する旅」 (ビャンバ・ムンフゾル) | 6 |
| ☆ KIFAクリスマス会風景、 ☆ 「病気の克服! & 海外旅行復活!」 (富岡恒子) | 6 |
| ☆ 「日本でのホームステイの印象」 (バト・オルシフ) | 7 |
| ☆ 「日本に住んで思うこと、日本語教室のこと」 (加藤チャム) | 7 |
| ☆ 国際理解講座「北から南から、まるっとベトナム」開催当日の配布資料 | 8 |

「かにえ国際交流友の会」一つの役割

会長 藤田 美保



「かにえ国際交流友の会」会員の皆様、今年度もご支援ありがとうございました。また、昨年の11月には次ページで報告しましたように「多文化共生推進功労者」として当会が大村愛知県知事より表彰を受けました。これには横江町長はじめ担当部署「政策推進室」からの強い推挙があったと聞いています。この場を借りて大変感謝する次第です。

さて、2016年に日本を訪れた外国人観光客はほぼ2400万人だそうです。この内何%が愛知県特に蟹江町に来られたのでしょうか。残念ながら統計上の誤差範囲くらいかなと推定されます。実際、KIFAの行事で蟹江町にホームステイする外国人の場合も観光には（私達にも責任がありますが）名古屋など町外に行ってしまう。

今回、蟹江町で長い歴史のある「須成祭り」がユネスコの無形文化遺産に選ばれました。常設の展示施設を作る計画もあるとのことですからまず蟹江あるいは近隣在住外国人に蟹江町にこのような伝統の祭りがあることを知らせ、口コミなどで外国人観光客を呼び込めることに少しでもKIFAがお役に立てればと思います。

会員の皆様来年度もどうぞよろしくお願ひします。



かにえ国際交流友の会への期待

蟹江町長 横江 淳一



KIFAの皆様におかれましては、日頃から地域の国際交流にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

昨年は、地域の多文化共生の進展に大きく寄与してこられた永年の実績が認められ、愛知県多文化共生推進功労者表彰を受賞されました。表彰式では、藤田会長が大村知事から直接に表彰状を授与されるという栄誉も受けられました。これまで、日本語教室を始め、外国人住民が地域とのつながりを持つきっかけづくりや小中学校等への通訳ボランティアを派遣してきたことなどが評価された表彰でありました。町としましてもKIFAの皆様方が実施してこられた永年の活動に心より感謝を申し上げます。

さて、昨年12月1日には、蟹江町を代表する祭り「須成祭り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これを機に、歴史・文化・伝統が深く息づくまちとして町内外にPRしてまいります。さらに、外国人観光客の来町も見込まれますので、KIFAのご協力を得ながら、国際交流・多文化共生事業により一層取り組んでまいります。

最後に、各種行事を継続して実施しているKIFAのご労苦に改めて敬意を表しますとともに、外国人住民と地域をつなぐ新たな取組にもご期待申し上げ、ご挨拶いたします。

「かにえ国際交流友の会」設立理念

「蟹江町の内外に在住されている外国の人々との交流を通して、生活風習・ものの考え方など“文化”の相違あるいは類似点を知り、相互理解を深めること」

2016年度に実施した主な行事

開催日	行事内容
2016年 4月 17日 (日)	総会・懇親パーティー
6月 12日 (日)	親善ボウリング大会 (カニエボウル)
8月 19日 ~ 21日	名大外国人研修学生6名の歓迎会とホームステイ受入
10月 8日 (土)	かにえ町民まつり参加・出店 (町役場前)
9日 (日)	同上
10月 22日 (日)	ライオンズクラブ「西尾張中央道クリーン大作戦」参加
12月 11日 (日)	クリスマスパーティー (産業文化会館)
2017年 3月 5日 (日)	国際理解講座開催：講師 山崎康一、グエン・ホア・トゥアン、レ・ティ・フォン、グエン・ティ・リー (本文ページ4 & 8参照)
3月 31日 (火)	当会報 (No. 24) 発行

「愛知県多文化共生推進功労者」として愛知県知事から表彰を受けました
(2016年11月5日 名古屋国際センター)



授与された表彰状



表彰式後の知事との
記念撮影

「ミャンマーとKIFAのかけ橋、磯部正弘さん」

谷中 ひさ子

2016年9月、磯部正弘さんが逝去されました。KIFAは長年、ミャンマーの医療団体や学校支援を行ってきました。そのきっかけとなったのは、2003年2月にKIFA会員がミャンマーに精通した磯部さんの引率の下、ミャンマーの奥地にある小学校等を訪問したことです。それ以後ミャンマーに出張される磯部さんにKIFAからの寄付金を託

し、直接届けていただいていた。小学校(2007年まで)、HIV患者施設、海外医療支援活動団体NPO ジャパンハートへ支援を続けてこられましたのは磯部さんのおかげです。まさにミャンマーとKIFA、更には蟹江町とのかけ橋そのものでした。ここに、お悔やみと感謝の言葉を申し上げます。長い間ありがとうございました。

「磯部さんの訃報を悼んで」

服部 小夜子

磯部さんの訃報に接し、大変驚くとともに、今でも信じることが出来ません。恰幅が良く、お茶人で、和服のお似合いの磯部さんでしたネ。ハンブルグからいらっしゃったお客様に、ご自宅のお茶室にて、お茶会を開いて下さり日本の伝統文化に直にふれる貴重なひと時を作ってくださいました。また惜しげもなく桐箱入りのお茶碗をお土産に差し上げて下さり、とても喜ばれ帰国なさいました。



ミャンマーへの旅(2003.2.10 - 2.19)では、海外へ出かけられることの多い磯部さんに、大変ご尽力いただきました。かにえ国際交流友の会より現地の子供達へと寄付金を、ガールスカウトの皆さん、知人、友人より、ボールペン、ノート、千代紙、画用紙、スケッチブック、鉛筆など、たくさんの文房具を頂き、日本人の訪れたことのない山奥のトウウェンニー小学校へ向かいました。子供達の見せてくれた喜びに満ちた笑顔は忘れることのない思い出です。

寄付金をミャンマーの通貨チャットに替え校長先生に贈呈いたしました。大変喜ばれ、このお金「十万円」で図書館を建てると言われ私たちは驚きました。同行していただいた書家の石原あさ子先生に子供達の前で書を披露していただいたり、みんなで一緒に折紙で紙風船を作って遊んだりしました。石原先生の書が、完成した図書館に飾ってあると聞き、胸が熱くなりました。手配していただいたホテルは、インレイ湖に浮かぶ茅で出来たコテージ群にあり、別世界にいる心地でした。

高床式のお家では、ご老人の手厚いおもてなしを頂き、そのお茶の美味しかったこと。飛行機の中にてお抹茶を振舞って下さり、まわりの方達がびっくりしておられましたネ。世界で一番夕日の美しいと言われるバガンの仏塔にて、夕日をお楽しみながらの一服も格別でした。私達が困ることなく楽しい訪問が出来ましたのは、磯部さんが何から何までお世話して下さいのおかげです。楽しかった思い出はつきません。ありがとうございました。磯部さんが接木され、いただいた椿の木はずいぶん大きくなり、季節が来るとベビーピンクの美しい花が咲いております。ご冥福をお祈り申し上げます。



上記の文中のトウウェンニー小学校(2003年)



かにえ国際交流友の会(KIFA) ジャパンハート診療所(2010年訪問)

「名古屋大学法学部外国人研修学生の短期ホームステイ受け入れ事業」
2016年8月19日～8月21日

2016年8月ホームステイ学生とホスト（代表者）一覧

出身(都市)	氏名(カタカナ)	呼称	性別	ホスト代表者名
モンゴル	ソドゲレル・バト オルシフ	オルシフ	男	黒川マスミ 蟹江町
モンゴル	レンツェンタウハイ・マンドハイ	マンドハイ	女	深山敦祥 愛西市
ベトナム	グエン・ティ・フオン・トゥー	トゥー	女	近藤智代美 刈谷市
ベトナム	ブイ・ホアンリー	ホアンリー	女	長田裕美子 名古屋市
カンボジア	クム・カエマリー	カエマリー	女	伊藤悠紀子 蟹江町
カンボジア	スレイン・チャンディー	チャンディー	女	戸谷規子 蟹江町



各国の特色有る料理が山盛り

歓迎パーティー当日風景（8月19日、産業文化会館）



パーティーの前、茶席で接待される



琴とヴァイオリン二重奏

名古屋大学法学部で夏期研修する外国人学生の短期ホームステイ

上記研修学生の受入は今年度で8年となり、いまやKIFAの定例年間行事です。彼等は各国で日本語と法律を学ぶ優秀な学生で、通常の日本語はほぼ問題無しです。言葉の壁もありませんので、この機会に新しい形の国際交流の経験をされては如何でしょうか。この8月にも実施の予定です。皆様方からの受け入れの応募をお待ちしています（会員外の方でも可ですのでどうぞ）。

「チャンディ & カエマリーのホームステイ」

戸谷 規子・川嶋 鮎子・伊藤 悠紀子

この夏も、夏季セミナー参加カンボジア学生、チャンディ（戸谷・川嶋親子家）とカエマリー（伊藤家）のホストファミリーを引き受けました。いつもと違うのは、二世帯で行動を共にする試みです。事前のリサーチでは、先輩から「名古屋港水族館がオススメ」と聞いたのでそこへ行きたいとありました。毎年どのように過ごすか？という計画について、当地方は選択肢が多くないので困ります。ありきたりになるけど、1日目は名古屋城～名古屋名物での昼食（今回は柴であんかけパスタ）～テレビ塔～水族館、2日目は蟹江町散策～書道練習で過ごしました。戸谷・川嶋家には小学生ののどか・はなちゃんがいてチャンディととても仲良くなり、いつも手つなぎで子供好きなんだと微笑ましかったです。



名古屋城では、新しくなった本丸御殿の見学を済ませ、城内へ。大きな金のシャチホコで記念撮影したり、昔の城下町展示物から歴史を偲んだり、天守閣から東を見れば「あっちが名大だよ」、西を見れば「向こうが蟹江町～」などと賑やかです。お昼を済ませて、テレビ塔へ。展望台で



は名古屋の街が一望出来、都市の大きさを感じた様です。続いて名古屋港水族館、夏休みも終盤に近づき子供連れの家族が一杯で、身動き取れないくらい！取り敢えずスムーズに見られる南極ペンギン館へ。暑い国の人達なのでペンギンなんか見た事なかったらしく、随でのちよこまか動作、水中のスムーズな泳ぎに感されました。最後はイルカのショーに移動し、最前列でイルカのジャンプに水あびさせられたり、握手したりと楽しんだ様です。蟹江に戻り、自分で焼くお好み焼きで夕食。あんかけパスタもお好み焼きも、カンボジアとは大いに異なる食文化「何食べても美味しい～」と大満足でした。

この後両家に別れて、夜の時を過ごしました。翌朝、カエマリーは夫と共に蟹江町を散策、10時よりチャンディ達も伊藤家に合流し、書道練習。カンボジアへは年2回書道ボランティア訪問で練習しているので、2人とも慣れています。チャンディ「気楽」・カエマリー「健康」の文字を額入りと扇子にして持ち帰りました。川嶋家の子供達も夏休み習字の宿題も完成。終了後それぞれの家族と過ごし、役場から名大へ帰って行きました。其々に将来の目標を持ち、考える力も優れていて、聞く姿勢も素直な2人が、自分の夢を叶えられる様に願っています。

（後日のカエマリー談：「名大へ帰る車の中で泣いちゃった～」との事。良い経験と思ってくれたら嬉しいな！カエマリーは9月から1年間、名大へ留学プログラムで来名中）

「国際交流初体験」

近藤 智代美



我が家にとって、留学生受け入れというイベントは初めての事であり、夏の良い思い出となりました。ホームステイしてくれたのは、ベトナムのハノイ法科大学のトゥーさん。かわいい女の子

です。私には3人の娘がいますが、まるで4人目の娘がやって来た・・・という感じで3日間を共に過ごすことができました。また、何度か海外へ出かけ様々な体験を謳歌している同年の姪も行動を共にしてくれ、とても良い刺激となったようで、夜遅くまで色々な話をしていたようです。

2日目は、トゥーさんから「日本の歴史に興味があり、勉強しています」という話を聞いたので、馬籠、妻籠宿へ案内しました。私たちが久しぶりに行ったのですが、外国人の観光客が多いのにびっくり、古風なお土産屋さん巡りはとても楽しんでもらえました。他にも色々計画していたの

ですが、彼女の要望は、家に帰り、家で飼っている犬や猫と遊びたいとのことで帰宅。花火大会に出かけるまで、ちょっと家で一休み。夜は浴衣に着替え、弁当持参で「刈谷わんさか祭り花火大会」に出かけました。夜空を覆う巨大な打ち上げ花火に感動していました。

最終日、私は同行できませんでしたが、二女、三女夫妻に託し、トヨタ博物館やショッピングに出かけ、若者同士楽しんだようです。今回、お出掛けばかりでしたが、もっとゆっくり家で過ごさせてあげた方が良かったのではないかと、例えば皆で日本料理を作ったり、書道の体験をしたり、そんな過ごし方も良かったのではないかと少し反省しています。今後もトゥーさんと良い関係が続くといいなと思っています。



国際理解講座「北から南から、まるっとベトナム」(3月5日) 報告

青木 猛

ベトナムは南北に細長い国であり、北部にある首都ハノイ市と南部ホーチミン市を比較しながら観光名所や市内の様子などの紹介がありました。

とくにベトナム最大の年中行事であり、ベトナムの伝統文化を色濃く残しているテトに焦点を当て。魚を放つ習慣、食べ物（豚肉と緑豆の中に入れて、もち米で包んで、最後にズンという葉っぱで包み、鍋で茹でたもの。ハノイは四角の形の「バイン・チュン」ホーチミンは円筒の形の「バ

インテット」という)、漬物、花、果物についても北と南では異なることなどをベトナムの旧正月の様子がよくわかりました。講演の後、鶏肉のフォーと生春巻きの試食のほか、ハス茶、ベトナムコーヒーを試飲しました。

3人とも昨年の9月に日本に来たばかりですが、ベトナムで4年ほど日本語を学んでいたため堪能でベトナムの実生活を分かりやすく紹介してくれました。（当日配布の参考資料は8ページ参照）

「ベトナムのリーちゃんを受け入れて」

長田 裕美子

リーちゃんと蟹江で出会い、我が家へ向かう車中でのこと。ビギンの“鳥人ぬ宝”が流れると彼女は歌い出しました。次から次へ曲に合わせて歌うのです。“ビギンは大好き！”と言います！日本語の歌は、音符一つに一文字だから歌いやすい。日本語を覚えたいので歌やアニメを一生懸命覚えたそうです。彼女の興味は多くの質問となって投げかけられました。パソコンを開いて、“これを見て下さい”と現れたのは官崎駿の「おもひでぼろぼろ」でした。“わからないことがあるのです”と切り出しました。主人公のタエ子の子どもの頃たった一度だけおとうさんに殴られた時のこと。“なぜ、おとうさんはタエ子をなぐるの？”



三州足助屋敷で
わら細工に挑戦

日本の家庭ではよくあること？”と画面のたびに質問です。結局この映画を一本一絡に見ることになりました。

香嵐溪の足助屋敷で昔の暮らし体験をした時も、彼女は大はしゃぎでした。わらでリースを作る時も、あまりにも楽しそうに作っているの、スタッフの方から取材を受ける側に。すぐさまブログにアップされてしまいました。心から日本を好きで、私たちも彼女の滞在をとっても心地よい気持ちで過ごす事ができました。今後も多くの事を学びこれからの人生、日本とベトナムの架け橋になってくれますように。幸多かれと願っています。またホーチミンで会いましょう！と3日間の滞在は終わりました。

「マンドさんと木綿のハンカチーフ」

深山 加代子

マンドハイさんは私達がモンゴルから迎える4人目の学生さんです。明るく好奇心いっぱいの可愛い女子学生でした。趣味は水泳と水彩画を描くこと。また、大学教授の母親が政治家を目指していることもあり、政治について語りだすと止まらず、モンゴルを良くしていきたいという気持ちがこちらにも伝わってきました。



海を見せたいと思い、従兄弟の別荘が知多にありますので、お連れしました。丁度20人位の従兄弟の友人が集まる日で、海の幸山の幸でパーベキューをしました。笛や太鼓の上手な方の神

楽の演奏もありマンドさんはリズムに合わせて踊って皆さんに大人気！最後に前に進み出てお礼を言い、「木綿のハンカチーフ」を歌いました。それも4番まで！！

モンゴル大学で日本語を教えてくださいと日本人の女性の先生の好きな歌だそうです。皆さんへの感謝の気持ちが伝わり、サービス精神いっぱいのやさしい人だと思いました。絵画に興味のあるマンドさんの為にご主人が画家で奥様がバイオリンの先生というお宅に伺い、外国のお話を聞いたり、素晴らしい絵をたくさん見せていただいたりして貴重な体験もできました。

「また2年後に名古屋大学に大学院生として戻ってきます！」と約束しましたので、楽しみにしていますね。



KIFA日本語教室「日本語しゃべろう会」の案内

★ 土曜日クラス：毎週土曜日、19:30-21:00 ★ 場 所：中央公民館（蟹江町役場裏）
連絡先：八神里美、Tel 090-9929-1260

★ 受講料は無料です。

当クラスでは日本語ボランティア講師を募集しています。興味ある方連絡下さい。

KIFAの楽しい行事風景 — 親善ボウリング大会（6月12日）—



自転車を含めて豪華賞品多数

中西 久子

晴天の日曜日、事前の予約申し込みはなくなりましたが13時からの受付開始から、次々と参加者がKIFAの受付に現れて安心しました。中国、ベトナム、マレーシア、フィリピン、ブラジル等の方や、もちろん日本人たちも。役場の岡本政策推進室長とKIFAの藤田会長の始球式ではお二人ともそろってのストライクはお見事でした！ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がリ、あちこちでハイタッチ！表彰式では1位の豪華賞品は自転車、52位まで全員にお菓子と飲み物が配られました。ちょうどラマダンの方もおり、その方達は飲食を我慢、我慢。宗教の違いを感じたことでした。皆さん、また来年も頑張ってくださいね。

はお二人ともそろってのストライクはお見事でした！ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がリ、あちこちでハイタッチ！表彰式では1位の豪華賞品は自転車、52位まで全員にお菓子と飲み物が配られました。ちょうどラマダンの方もおり、その方達は飲食を我慢、我慢。宗教の違いを感じたことでした。皆さん、また来年も頑張ってくださいね。

「日本の魅力を発見する旅」

ビャンバ・ムンフゾル



わたくしは、モンゴル人のムンフゾルと申します。今は名古屋大学に留学しており、具体的には、名古屋大学の法学研究科で民事訴訟法の研究に励んでおります。今回は、第三回目の来日となりますが、日本の魅力をまだまだ発見し終わっていません。そのため、修士課程の院生で普段は勉強ばかりのわたくしですが、旅行や新体験にはいつでも時間を作るようにしています。こうして、はじめて日本の魅力を発見できると考えているからです。

その一環として、去年は第二次世界大戦の影響が強かった地域となる広島を旅行したり、浴衣姿で初お盆ダンスや書道に挑戦したりしました。広島を旅行するきっかけとなったのは、3年前にホームステイを受入れてくれた蟹江町の優しい家族です。当時はその家族の方々大変お世話になり、その後来日してからもお世話になっていま

す。それに、浴衣姿で、お盆ダンスを体験できたのも、書道に挑戦しているのも、蟹江町の知識豊富で、いつでも相談相手になってくれる親しい家族のおかげです。

こうしてモンゴル人のわたくしが、蟹江町の優しい皆さんに支えられながら、日本にしかない日本独特の魅力を発見する旅を今後も続けて参ります。

皆様、いつもありがとうございます。

KIFAの楽しい行事風景

— クリスマス会 (12月11日) —



おやザンクが二人も!



仲良し二人組?



マリーアントワネットのマイオリニスト?



子供達に大人気!



部屋いっぱい参加者!



ビンゴで鉢花当り!

今年も140名超の参加者を得て賑やかにクリスマスパーティーが行われた。マリーアントワネットに扮した(?)伊藤実知子さんをリーダーとするバンド演奏やその他を楽しみ、各種のエスニック料理も堪能できたと思いますが如何でしょうか。

「病気の克服! & 海外旅行復活!!」

富岡 恒子

「余命〇〇」と医師より言われ5年が過ぎました。いまだに足のしびれは取れず、デブにもなり不自由な毎日です。大腸がんステージ3Cで2011年12月12日手術。2012年1月~8月にはFOLFOX4療法。その後2週間を1コースの抗がん剤点滴治療。冷たい物に触ることができず、手足口のしびれが出て、皮膚や爪が黒ずみ痛みもありました。1週間入院して、1週間自宅療養の繰り返し10回。痛み止めの薬がないと大変でした。2013年4月ヘルニアで再入院。3年間で毎年手術をし、痛みもしびれも直らない辛い毎日でした。月1の通院時、造影CT検査でバリウム点滴後息苦しくなり胸がムカムカし、アレルギー体質になってしまいました。不眠症しびれ息切れと体調も悪くなるばかりで、通院もずーと月1で、なかなか3ヶ月に1回になりませんでした。



楽しい思い出作りをと考え、2014年4月豪華客船の旅に行き、荷物は自宅へ船、船へ自宅と病後の私には手軽でビックリでした。久々の海外旅行、毎回のご馳走、ショートタイム、国際交流と、いつ死んでも悔いはないと思いました。2015年12月船で知り逢った香



港の人と再会、繁華街やご馳走、お土産と歓待されました。次回は日本での再会を約束しました。2016年10月日本からベトナムに帰った生徒に会う為、ホーチミンへ行きました。時差2時間、常夏で物価も安いと聞き楽しみでした。現地ガイドの店は何でも千円で、生徒の案内の店は千円のもものが800円で買う事ができました。バイクの多さには驚きました。事故も多いのか救急車も忙しそうに走っていました。タクシーはスマホで呼び出し大きな乗用車でした。晴れ女の私ですが、ホテル着後大雨になり、生徒も私達の部屋でくつろぐラッキーな時を持ってました。生徒はタイニンまでバイクで帰って行きました。

1ヵ月後の12月ソウルに行く事になり、江南エリアで免税店もCOEXモールも歩いて行け、ホテルの設備も最高で、セレブご用達のスパ、カジノと大いに楽しみました。翌日は海南病院6か月検診日、医師より「内臓はとても綺麗です。5年たったので通院は今日で終わりです」と言われ喜びの記念写真を撮って来ました。3年間入院で大変でしたが、先生や皆様のお蔭で生還、元気になりました。現在は太極拳とウォーキングとラジオ体操をしていますが、以前してたバレーボールやエアロビクスの激しい運動もしてみたいです。頑張ったら昔の7号の服が着れるでしょうか?

「日本でのホームステイの印象」

バト・オルシフ

2016年8月19日～21日に名古屋大学夏季セミナーの学生として、黒川マスミさんのご家族の一員になる機会を与えて頂きました。今回のホームステイは2泊3日間という短い滞在でしたが、一生忘れられない素晴らしい思い出になった、生まれて初めてのホームステイでした。

8月19日の夜、KIFAの皆さんによる心の込められた歓迎会終了後、ホストファミリー（以下、お父さん、お母さん）と一緒に家へ行きました。ホストファミリーは2人家族（一匹の犬もいました）でしたが、一家の長女（以下、お姉さん）のご家族も私の到着を待っていてくれました。お姉さんの息子さんは英語で挨拶や自己紹介ができる元気な子で、娘さんはきれいな子でした。

涼しい風の国から訪日した私にとって、日本は実に蒸し暑かったのですが、家族のみなさんが私を大切にしているその心は、温かく感じられました。ですから到着した日に、以前思っていた日本人が家族をあまりに大切にしていないという誤解は解きました。

翌朝、お父さん、お母さん、お姉さんのご家族と一緒に名古屋港水族館に行きました。私の母国であるモンゴルには海がないため、はじめてイルカや、たくさんの海洋動物を実際に見ることができました。そこで一番驚いたのはイルカのパフォーマンス



でした。以前にテレビで見たことがありましたが、実際に座ってジャンプするイルカの水飛沫を体で感じるの最高の体験でした。それから、海を見たり、観覧車に乗ったり、回転寿司で食事をしたりしました。お寿司は美味しかったので、私はたくさん食べました。でも家畜の肉を食べた遊牧民の子供である私の体に魚が合わなかったのか、あるいはたくさん食べすぎたせいなのか、その後おなかがちょっとおかしくなっていました。日本はやっばり海の国だなあというのがその日の印象でした。



ホームステイ最終日、お父さんとお母さんが結婚式を挙げた津島神社を見学しました。そこでおみくじで大吉を引いたり、絵馬にお願いを書いたり、お守りを買ったりしました。数日後私たちは名古屋大学で論文発表をすることになっていたため、ちょっと緊張していましたが、津島神社に行ってから自分に自信を持てるようになって、心が落ち着きました。昼御飯に、お父さんは手打ちそばを作ってくれました。そのそばの味はお父さんの心のように優しく感じられました。もちろん味はとも美味しかったです。これは建て前ではなく、もっとも私の心に残り食べやすかった日本食でした。そして、お別れするときお父さんの末娘のご家族も私を送ってくれました。

日本でのホームステイの印象をまとめて言えば、日本人、特に黒川マスミさんのご家族の心は何よりも温かったということです。一生忘れられない素晴らしい思い出を作ってくれたホストファミリーの皆さんに感謝します。



「日本に住んで思うこと、日本語教室のこと」

加藤 チヤム

皆さん、こんにちは。私はチヤムと言います。ベトナムから来ました。年齢は28歳です。日本に来てから色々体験し、学ぶところがたくさんありました。私の印象に残ったこととお話します。

1) 交通安全について：ベトナムと日本の交通で大きな違いは、ベトナムでは車が右側、日本では左側通行です。

日本では子どもたちの通学の時には、いつも横断歩道に学童擁護員（がくどうようごいん）がいます。道路を渡る橋（※歩道橋）もたくさんあり、信号機もあります。子どもや老人を大事にし、事故から守り、大変安心です。どの国も日本の交通安全システムを学べたらいいと思います。ベトナムでは道路を渡る時は命がけです。

2) 列に並ぶ姿について：日本では電車に乗る時、並んで待ち、順番に乗ります。店でも並びます。



トイレでもちゃんと並びます。これはすごいことだと思います。ベトナムでは列を作ることはほとんどありません。並ぶと遅くなるからです。

3) きれいな環境について：日本はきれいな富士山、桜、もみじなどきれいな景色・場所がたくさんあります。周囲の環境ではどこにもゴミ箱があり、タバコを吸う場所も決まっています。日本人の環境意識はすごいと思います。母国ではゴミは足元（あしもと）に捨てるものと思っています。

最後に、日本語教室に通う研修生はじめ私たち一同を代表して、先生がたに心から感謝しています。家族から離れ、寂しく暮らしている私たちを助け、親切にしてくださっています。いろいろな事を教えて下さって本当に感謝しています。これからもどうぞよろしくをお願いします。

KIFA英会話教室へのお誘い（会員対象です）

- ★ 講師：ジョン山本先生、第2、第4日曜日（月2回）、場所：中央公民館 ★
 クラスA：午前9:00-10:30 クラスB：午前10:30-12:00
 連絡先：青木猛、Tel 0567-31-1216

北から南から まるっとベトナム

講演(写真右から): **グエン ホア トゥアンさん**

(Nguyễn Hòa Thuần)

ベトナム人留学生(写真右側3人)は
名古屋大学大学院法学研究科1年生**レ ティ フォン さん**

(Lê Thị Hương)

グエン ティ リー さん

(Nguyễn Thị Lý)

山崎 康一 さん

フエ(ベトナム中部)生まれ、ホーチミン(ベトナム南部)育ち。ホーチミン市法科大学日本法教育研究センター卒業。好きなこと:バドミントン。将来の職業:労働法の知識を活かして、日本企業またはベトナム企業で人事の仕事がしたい。

ホアビン省(ベトナム北部)出身。ハノイ法科大学日本法教育研究センター卒業。好きなこと:グルメ、温泉、カメラ、散歩、犬派。将来の職業:法律知識と日本語スキルを活かせる仕事、たとえば日越間の貿易業などがやりたい。

フンイエン(ベトナム北部)出身。ハノイ法科大学日本法教育研究センター卒業。好きなこと:釣り、植物栽培。将来の職業:大学教授が社会社法の知識を活かして、日越経済の協力関係に貢献したい。

ベトナム人留学生3人の友人。多治見市在住、名古屋市内のIT企業勤務。趣味でベトナム語を学習中。

日時: 3月5日(日) 13:30~15:30**場所: 蟹江町産業文化会館3階会議室**

ベトナムは、インドシナ半島の東側の南シナ海に面した細長い国です。古代には中国への朝貢関係があり、多くの漢字文化が流入しました。近代にはフランスの植民地となり、フランス文化の影響を受けることになりました。フランスからの独立を目指した第一次インドシナ戦争末期の1954年5月7日、ディエン・ビエン・フー(Điện Biên Phủ、ハノイの北西、ラオスとの国境近く。フランス軍の要塞があり激戦地となった。)での勝利は、全世界の目を小さなS字型の国ベトナムに注目させ、植民地解放運動が世界各地に広がるきっかけとなりました。その後、米国との戦争(ベトナム戦争)を経て現在に至ります。戦争を乗り越えて発展を続ける現在のベトナムは、政治状況の安定性、治安の良さ、豊かな自然環境による美しい景勝地と良く保存された各地の史跡、南北1,650kmに及ぶ国土の各地に根付いた多彩な食文化、そして親切で親日的なベトナム人、と魅力あふれる素晴らしいところです。

このようなベトナムについて、今回の講演では、ベトナム最大の年中行事であり、ベトナムの伝統文化を色濃く残しているテト(Tết)＝旧正月に焦点を当てて紹介します。

**ベトナムの国旗**

赤色は独立のために人民が流した血と社会主義を、星の黄(金)色は革命を、星から出る五本の光は労働者・農民・兵士・青年・知識人を表す。

**国章: 歯車・稲穂・国名
国の標語:**

Độc lập, tự do, hạnh phúc
(独立・自由・幸福)

ベトナム社会主義共和国

ベトナム語: Cộng Hoà Xã Hội Chủ Nghĩa Việt Nam
「共和社会主義越南」のベトナム語読み

面積: 34.6万km²(日本の約9割)

人口: 9.2千万人[2018年]

民族: キン族96.2%, その他50以上の少数民族

言語: ベトナム語

宗教: 大半が仏教、その他 道教、カトリックなど

GDP: 4,012USD/人(日本: 38,731USD/人)[2018年]

通貨: ドン(Đồng(銅)), 22,576ドン=1USD/円[1月24日]

主要貿易国(輸出先): 米国、日本、中国

ベトナム料理の試食**鶏肉のフォー(フォーガー Phở Gà)**

フォーガーは、米粉で作られた、さしめんのように平たい麺を、あっさりとした鶏だしスープで食べる料理で、ベトナム料理の代表として日本でも有名です。日本人の味覚にもマッチしていて、一度口にしてみれば、その虜になること間違いなし。ネギ、もやし、パクチーなどをトッピングし、さらにベトナム人は、チリソースと酢をかけて食べることが多いです。パクチーファンのあなたには、是非お勧めしたい料理です。

**生春巻き((北部)ネムクオン Nem Cuốn、(南部)ゴイクオン Gỏi Cuốn)**

生春巻きは、米粉で作られた「ライスペーパー」で、エビ・豚肉・パクチーなどのたっぷりの具材を包んだもの。さまざまな具材を使って栄養バランスが良く、油を使わない低カロリーのすばらしい料理です。ヌクナム(nước chấm、ベトナムの魚醤)をつけて一気にほおばれば、この上ない幸せを感じることでしょ。



世界の国旗： ウズベキスタン共和国



空色は青天と純水。白色は平和と純粋さ。緑色は天恵の自然。赤色の細いラインは生命力。晴天を象徴する三日月と12個の星。三日月は、イスラムとウズベク人の伝統。12個の星は12という数字が完全性の象徴。

KIFAイベントボランティア募集

右記の行事やイベント等でお手伝いして頂ける方を募集します。各役員まであるいは行事の現場で声をかけて頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。

2017年度の主な年間行事予定

日時	行事
2017年4月16日	総会、懇親パーティー
6月4日	親善バーベキュー大会
8月18～20日	名大研修学生ホームステイ受入予定(2泊3日)
10月7,8日	かにえ町民まつり参加
12月10日	クリスマスパーティー開催
2018年2月中旬	国際交流関連事業
3月末	会報(No.25)発行予定

上記日程等は変更になることが有ります。

KIFA主催の通年教室(講座)

- 日本語教室(無料、外国人向け)
 - 英会話教室(有料、会員向け)
- (本会報中に各教室の案内があります)

ご協力ありがとうございました。引き続きご支援をお願いします。

企業会員

蟹江住宅設備(株)	蟹江ライオンズ倶楽部
-----------	------------

賛助会員

アソピックスかにえ	イソベ商事(株)湯元館	イマニ外国語教室	宇佐美自転車商会
甘強酒造(株)	(株)クリンテック	(株)近藤溶接	松屋呉服店
月星歯科クリニック	日光鋳工場(株)	呉服専門の店いとり	(株)若菜
渡辺豊店	味彩もへの	愛知黎明高校	(有)近藤住建
(株)綿新商店	山本医院	伊藤書道教室	菜も屋
有)河野板金	高阪智規	きもの処まるい	(順不同です)

KIFA ホームページ <http://kifa.la.coocan.co.jp>

☆☆ 編集後記 ☆☆

KIFA会報は通常年1回、3月末に発行されます。その内容は当会の年間行事関連報告等と、広い意味での「国際交流」関連の寄稿記事を中心に構成されています。記事等は常時受け付けていますので、どうぞ右記の連絡先までお寄せ下さい(ふ)。

発行：かにえ国際交流友の会

会長：藤田美保

TEL: 0567-95-9724

E-mail: fujita@nsc.nagoya-cu.ac.jp

事務局：蟹江町役場政策推進室内
〒497-8601 蟹江町学戸3丁目1番地
TEL: 0567-95-1111, FAX: 0567-95-9188